

日本 ASEAN 友好協力 50 周年記念認定事業
JENESYS 日 ASEAN 輝ける友情交流の記録
(オンライン招へい)

1. プログラム概要

【目的・概要】

このプログラムは、日本 ASEAN 友好協力 50 周年を記念し、両国の将来を担う ASEAN 地域と日本の高校生・大学生等が、一緒に参加・文化体験をすることを通じて、この記念事業のキャッチフレーズ「Golden Friendship, Golden Opportunities／輝ける友情 輝ける機会」^(注)への期待とともに、日 ASEAN 関係の更なる発展と友好促進を目的として実施しました。

学生・青年は、8月8日から17日(その内8日間)のプログラムに参加し、日本と ASEAN 関係、国連と国連における日本の役割、海で繋がる日本と ASEAN をサブテーマとした沖縄県の訪問を通じた学習、地域の人々との意見交換や文化交流を行いました。また、JENESYS・ASEAN 派遣プログラムに参加経験のある日本人による日本各地のライブツアーを体験しました。彼らは、プログラムで得た学びにつき SNS 等を通じて多くの人と共有するとともに、今後の友好協力を見据えたのアクション・プラン(活動計画)を発表しました。

(注)「日本 ASEAN 友好協力 50 周年事業」のキャッチフレーズの意味：50年の長きにわたって友情をはぐくみ、生産的で協力的な関係の中で、強い絆を紡いできた日本と ASEAN が、パンデミックからの経済回復の兆しの中で、次の50年に向けて、日本と ASEAN の輝ける友情によって、再び輝ける機会を持てるようにとの願いが込められています。

【ASEAN 参加者】 ASEAN9 か国、東ティモールの高校生及び大学生等 200 名

(内訳) インドネシア 23 名、カンボジア 29 名、タイ 12 名、フィリピン 13 名、ブルネイ 18 名、ベトナム 15 名、マレーシア 21 名、ミャンマー 23 名、ラオス 18 名、東ティモール 28 名

【訪問地】 東京都、沖縄県、北海道、岐阜県、高知県

【日程】

8月8日(火曜日)【ウェビナー・質疑応答】テーマ理解講義

「日本 ASEAN50 年の歩み」

講師：外務省アジア大洋州局地域政策参事官室首席事務官 矢澤 英輝 氏

【オリエンテーション】

【ワークショップ】参加者間の自己紹介

8月9日(水曜日)【ウェビナー・質疑応答】テーマ理解講義

「日本と国連」

講師：外務省総合外交政策局国連政策課首席事務官 金戸 健太郎 氏

【文化体験】日本語レッスン

講師：一般財団法人日本国際協力センター多文化共生事業部日本語教育課

日本語教育専門職員 浅見 恵子 氏、主任日本語講師 小島 知佳 氏

【ワークショップ】参加者間の意見交換会

8月10日（木曜日）【訪問・意見交換】外務省沖縄事務所首席所員 池田 直史 氏

【学生交流】沖縄国際大学エイサー団体『琉球風車（りゅうきゅうかじまやー）』

【ワークショップ】参加者間の対談

8月11日（金曜日）【文化体験】「ジャパンライブツアー」

ガイド：JENESYS2022年度のASEAN各国に派遣された日本人同窓生5名
（内容）

- ① 北海道ツアー（函館・小樽市・札幌市の市内観光と北海道グルメ、函館山からの夜景）
- ② 岐阜県ツアー（岐阜・美濃の歴史・文化と板取川、長良川、下呂温泉巡り）
- ③ 高知県ツアー {高知グルメ、にこ淵（吾川郡いの町清水上分にある、四国八十八景碧の秘境として選定されている場所）の自然}

【ワークショップ】参加者間の対談

8月12日（土曜日）

【文化体験】沖縄空手・沖縄料理

【バーチャルツアー】ユンタンザミュージアム（世界遺産の座喜味城跡）

【ホームビジット】沖縄県読谷村（10家庭）

【ワークショップ】参加者間交流

8月15日（火曜日）

【講義・視察・質疑応答】残波ビーチ及びイノー（礁池）

「珊瑚礁の生態系と海洋環境保全の実情、課題」

講師：株式会社ナチュラルブルー 星原 貴保 氏

【ワークショップ】参加者間のプログラムでの気づき共有

8月16日（水曜日）

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

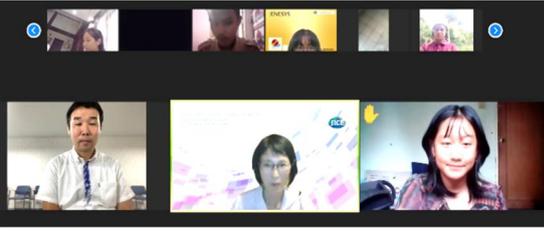
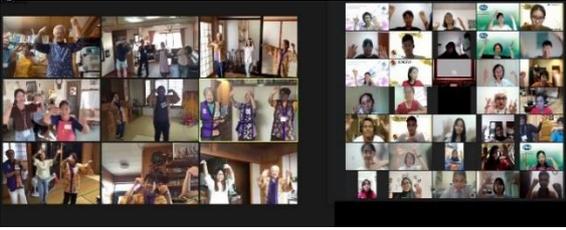
8月17日（木曜日）

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

2. 記録写真

オンライン交流プログラム

	
8月8日【外務省講義】「日 ASEAN 関係」	8月8日【オリエンテーション】、 【ワークショップ】参加者自己紹介

	
<p>8月9日【外務省講義】「日本と国連」</p>	<p>8月9日【文化体験】日本語レッスン</p>
	
<p>8月10日【訪問・意見交換】外務省沖縄事務所</p>	<p>8月10日【学生交流】琉球風車のエイサー披露</p>
	
<p>8月11日【文化体験】JENESYS 日本人同窓生によるジャパンツアー（高知県のかつお薫焼きタタキ体験の様子）</p>	<p>8月12日【文化体験】沖縄空手（読谷村）</p>
	
<p>8月12日【文化体験】沖縄料理（読谷村）</p>	<p>8月12日【視察】ユンタンザミュージアム</p>
	
<p>8月12日【ホームビジット】日本とASEANの参加者が一緒にカチャーシー^(注)を踊った (注) カチャーシー：沖縄民謡に合わせて踊る踊り</p>	<p>8月15日【講義・視察・意見交換】「珊瑚礁の生態系と海洋環境保全の実情、課題」</p>

	
8月17日【報告会】訪日成果・活動計画発表	8月17日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ ブルネイ 高校生

全てのプログラムが本当に素晴らしかったです。特に印象に残っているのはホームビジットです。日本の家族はゴーヤを調理してくれたのですが、ブルネイの一般的な調理法と異なるので驚きました。また、エイサーの演舞は、一緒に踊りたいと思うほど感激しました。さらに、学生の皆さんがジャパントアで色々な日本のおいしい食べ物を食べて紹介していただくことも楽しめました。その中にイカがいましたが、ブルネイでは、動いているものや生のものを食べる習慣はありません。また、珊瑚礁の生態系を見てダイビングに挑戦したくなりました。環境保全プログラムの海中を見て、色々な生き物や動物にも目を向ける必要があると思いました。

◆ カンボジア 大学生

日本語の新しいフレーズや言葉を習った日本の文化体験が印象深いです。私は、日本の素晴らしい文化や、日本のアニメに惹かれている熱狂的な日本ファンです。今回、日本社会について新たな知識を得たことは本当に嬉しいことですし、光栄に思います。ユンタンザミュージアム、沖縄伝統音楽、空手、日 ASEAN 関係や国連の役割についての講義など、全てに感動しました。

（JENESYS 同窓生による）北海道や沖縄のライブツアーも素晴らしかったので、いつか必ず訪れたいと思っています。

◆ ミャンマー 大学生

このプログラムは、日本を様々な側面から紹介されていました。特に印象に残っていることは、日本の優れた文化や昔からの伝統が今でも引き継がれていたこと、（そしてそれが）日本人をはじめ、世界中の人々に愛されていることです。同時に日本では技術革新も顕著であり、素晴らしいことだと思いました。

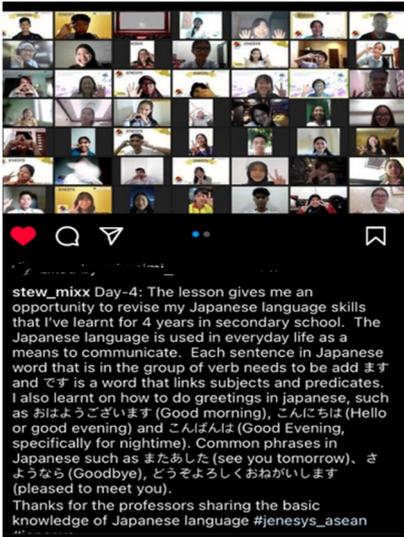
4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 協力団体

東南アジア各国からの日本のイメージは、最先端の「東京」、趣のある古都「京都」、雪一面の「北海道」という印象が強いかと思います。そこで、今回の沖縄、読谷村のプログラムを通して、そのような有名な都市だけではなく、日本にも ASEAN の国々と似たような地方特有の文化や食などがあるということを感じてもらい、理解してもらえるようにしました。実際に訪問していただくことが（体感してもらえる）一番の方法かと思いますが、コロナ禍開けでしたので、オンラインでの実施となりました。しかし、直接は触れ合えなくても、お互いに理解しあえるという可能性を感じました。ホームビジットで各民家からの LIVE 中継を通して、私たちも地

域のつながりを再認識できました。オンラインでも対面でも、エイサーなどの伝統芸能をお互いに披露しあえるプログラム、三線と各国の音楽で共演など、言葉ではなくとも通じ合えるプログラムが、今後も続けられたら素敵だと思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

<div data-bbox="205 504 734 931" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ໂຮງຮຽນອອນລາຍໃຊ້ພື້ນທີ່ດຽວນີ້ໃນການປະສານສົມພັນກ່ຽວກັບຄວາມຮູ້ສຶກທີ່ໄດ້ເຂົ້າຮ່ວມບຸກຄົນໃນ ໂຄງການ Jenesys Japan and ASEAN relationship training ວັນທີ່ 2 ນີ້ແລະ</p> <p>*Translation* I will use this space to publicize my feeling of participating in the Jenesys Japan and ASEAN relationship training program today</p> <p>◦ 2nd day was finished!! It's been another day that I have more knowledge such as "what is principal organs of the united nation" and "what is security council", have to thank you mr. Kaneto Kentaro for a lot of information today! From 9 TH Apisada thaesungnern #JENESYS_ASEAN #JENESYS</p> </div>	
<p>2023 年 8 月 9 日 (Facebook)</p> <p>タイ高校生</p> <p>JENESYS の日 ASEAN プログラムに参加して 2 日目 (日本と国連): 本日のプログラムでさらに多くの知識を得ることができました。国連の主な機関や安全保障理事会について学ぶことができました。講義下さった金戸健太郎氏に感謝致します。</p>	<p>2023 年 8 月 11 日 (Instagram)</p> <p>ミャンマー高校生</p> <p>4 日目: 中等教育で日本語を勉強したことがありますので、(今回の日本語レッスンは、私にとって) 日本語の基礎知識の復習の機会となりました。日本語の文章では、動詞の「ます」や「です」の定型が使われ、主語と述語を結びます。日本語のあいさつについて、朝は「おはようございます」、午後は「こんにちは」、夕方以降特に夜には「こんばんは」と言いますよ。また、一般的に使われる「また明日」「さようなら」「どうぞよろしくおねがいします」なども学びました。講師の皆さん、ありがとうございました。</p>



2023年8月16日 (Instagram)
 カンボジア高校生
 「JENESYS 日・ASEAN 輝ける友情交流」を通して、私は多くのことを学びました。初日からASEANと日本の繋がりについて学び、友好協力とはどのようなものなのか、ASEANと日本の関係は如何に重要なものかなど、多くのことを考えさせられました。2日目は、日本語をたくさん学び、また、国連の講義もとても勉強になりました。国連が何のために作られ、どんなものなのかを知りました。沖縄伝統舞踊エイサーは、信じられないほど見事で、とても好きになりました。また、沖縄で、他の JENESYS プログラムが沢山行われていることも知り、私の学業や将来の目標を実現するモチベーションを大いに高めてくれました。国内のライブツアーは、まるで自分がその場にいるような感覚を味わえました。日本人学生の皆さんありがとうございました。沖縄料理、ホストファミリー交流、ユンタンザミュージアム訪問など、興味深い素晴らしい経験ができました。沖縄のバーチャルツアーで、スタッフが紹介してくれた海の生物はとても興味深く、「サンゴの生態系」の話は本当に魅力的でした。また、海やその周辺にはプラスチックがたくさんあることも知り、サンゴや他の生物たちを守っていきたいと思いました。



2023年8月24日 (Facebook)
 ちゅらむら読谷 (地域振興事業、民泊を通じた交流事業の実施団体)
 8月9日、12日に【JENESYS 2023 日 ASEAN 輝ける友情交流】というオンラインでの日本と海外青年交流のプログラムに参加しました。ASEAN 諸国と東ティモールの高校生～大学生の学生さんと読谷の民家が zoom 画面を通して交流し、沖縄の食や暮らし、方言や三線、紅型の文化を発信しました。画面上での交流となりましたが、各国学生さんたちの興味や関心意欲が高く、終始質問やコメントが沢山でていました。カンボジアの高校生は、民泊ファミリーと両国について語り合い、両国関係を学んだ事が印象に残っていたようでした。
 異なる文化や言葉を持った人々と交流する事は、互いの共通点を発見し、それぞれの違いも理解することに繋がります。今回、ちゅらむら読谷のサポーターとして、大学生や社会人の方々にもご協力いただき、(海外だけでなく国内の友好の) 輪も広がった事を嬉しく思います。このような国際交流の実施にご尽力された皆様、ご協力の民家(日本のご家族)の皆様に感謝でいっぱいです。これからも宜しくお願い致します。



2023年8月29日 ジョグジャカルタ州立大学 校内新聞電子版の記事：日本政府が推進する JENESYS 事業の紹介と、同大学の数学・自然科学部理学教育学士課程の学生が、参加したことについて掲載されました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

全 20 グループが発表（訪問地：東京都、沖縄県、北海道、岐阜県、高知県）



【訪日中の学び】日 ASEAN 関係の 50 年周年という節目に、改めて日本と ASEAN の関係について振り返りました。また、日本語や日本文化に触れる機会、日本の地方の魅力について新たな発見をする機会が、沢山ありました。

【アクション・プラン】「Food review series（フードレビューシリーズ）（注）日本食紹介サイト」というブログを立ち上げ、今月から 10 月いっぱいまで定期的に情報を更新し、公開予定です。このブログは、料理と食文化に焦点を当て、料理の歴史、発祥地、材料、人気度、調理頻度、国内での購入場所などの情報を投稿します。

【訪日中の学び】多様なプログラムの中で、沖縄の豊かな自然、エイサー、空手、サンゴの生態系、海洋プラスチック問題などが印象深かったです。ASEAN と日本は共通する課題を持っているので、協力して取組むことの大切さも改めて認識しました。

【アクション・プラン】ゴミリサイクルキャンペーン『グリーンサイクル』を 9 月から来年 5 月までの 9 か月間、ASEAN 各国の高校や大学でボランティアを募って実施し、徐々に活動の輪を広げたいと考えています。その目的は、自然保全と亀やサンゴ、魚などの生き物の保護です。具体的には、ゴミ回収、プラスチックゴミ分別、リサイクル資源の販売で、売上を団体資金として運営します。



【訪日中の学び】日本が国際社会や ASEAN 諸国に対して長い間貢献をしていること、日本、特に沖縄の食文化や伝統について学びました。また日本では環境に対する意識がとても高いことを知ることができました。

日本人が祖先に対して強い尊敬の念を抱いていることに感銘を受け、また伝統に基づいた季節ごとの行事が日本各地で開催されていることを興味深く感じました。

【アクション・プラン】11月に、学生や日本に関心を持つ人を対象にして、神道や日本の祭りについてのウェビナーを実施し、プログラムでの学びを活かした情報発信を行います。日本人の友人をゲストスピーカーとして招いたり、クイズ等を取り入れて、参加型のプログラムにしたいと考えています。

【訪日中の学び】日本の海は多様な生物が生息する豊かな環境であることを学びました。またいろいろな形のサンゴがあること、サンゴが他の生物の生息を支えていることもわかりました。サンゴの白化やマイクロプラスチックの問題が深刻であることも知りました。

【アクション・プラン】海洋環境に関する問題には若者の力が不可欠であると思い、日本や ASEAN 諸国に住む 18 歳から 30 歳の青年グループメンバーで、沿岸地域などでの啓発活動や保全活動の実習といった、海洋環境保全活動普及のための組織を立ち上げます。また、各地域の環境関連の団体や政府組織、教育機関などにも参加を呼びかける計画です。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）